

平成 28 年 1 月 29 日

DUAL ENERGY CHARGE TRAIN

架線式蓄電池電車 **DENCHA** 今秋デビュー

～エコでスマートな『人と地球の未来にやさしい』次世代型車両～

JR 九州では、気動車に替わる次世代の車両として、架線式蓄電池電車の開発を進めてまいりましたが、このたび車両デザイン等が決まりましたので、お知らせいたします。

今後、平成 28 年秋の営業運転開始に向けて、4 月より試験運転を開始してまいります。



1 車両コンセプト・特長

コンセプト：『人と地球の未来にやさしい』をイメージした車体

○現行の 817 系をベースに、地球をイメージした青色が映え、環境へのやさしさを表現

特長：エコで快適な空間を提供

○架線の無い区間では蓄電池のみの電力で走行し、ブレーキ時に発生する回生エネルギーを蓄電池に充電することで高効率を実現

○客室照明に LED を使用し、室内温度環境の維持のため『スマートドア』の採用により、省エネ効果を実現

○バリアフリー・ユニバーサルデザインを迫及した視認性のよい液晶画面『マルチサポートビジョン』で停車駅や乗換案内等のほか、車両内の電力の流れを解説するエネルギーフローを表示

2 導入する非電化区間

筑豊本線（若松線）：若松 ～ 折尾 間

3 今後のスケジュール（予定）

平成 28 年 4 月 : 試験運転を開始（1 編成 2 両）

平成 28 年秋 : 営業運転を開始（先行投入）

平成 29 年春 : 6 編成 12 両を追加投入

1 架線式蓄電池電車について

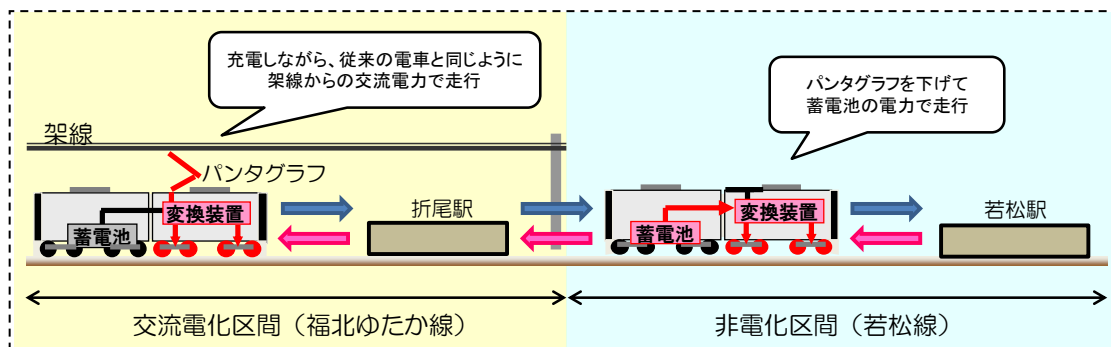
<走行概要>

○交流電化区間

- ・従来の電車と同じように架線からの交流電力で走行
- ・走行及び停車中に、架線からの交流電力を変換して蓄電池に充電

○非電化区間

- ・パンタグラフを下げ、蓄電池のみの電力で走行
- ・ブレーキ時に回生エネルギーを蓄電池に充電



2 スマートドア(押しボタン式開閉ドア)について

- ・車内の冷暖房効果を高めるために、押しボタン式開閉ドア方式を導入いたします。
- ・駅に到着後、ドア横のボタンが点灯し、青いボタンを押すことでドアが開きます。
- ・車内の黄色いボタンを押すとドアが閉まります。

※当社では筑肥線（姪浜～西唐津間）を走る 305 系車両でも導入しております。



3 マルチサポートビジョン (MSV) について

- ・各車両のドア上部の液晶画面に、停車駅や乗換案内、スマートドアのご案内等を表示します。
- ・各車両に電力の流れを解説するエネルギーフローを表示します。

普通 若松 ゆき	次は <h1 style="text-align: center;">本城</h1>
折本二奥藤若 尾城島海木松	

普通 若松 ゆき	ただいま <h1 style="text-align: center;">折尾</h1>
優先席 Priority Seat	
<p>各車両に優先席を設けています。お年寄りや体の不自由なお客さま、内部障がいのある方、妊婦中の方、小さなお子さまをお連れのお客さまなどには、座席をお譲りくださいますようお願いいたします。</p> <p>Each car has Priority Seats. Please offer your seat to the elderly, disabled, those with internal organ disorder, pregnant, or adults carrying small children. Thank you for your cooperation.</p>	



819 DENCHA

DUAL ENERGY CHARGE TRAIN





DENCHA